

News & Information

2025/8/6

〔PC-SOD のライセンス契約に関する、欧州製薬企業との交渉について〕

本年 3 月 21 日の当社のニュースリリースでは、

- ① 欧州の製薬企業（以下「当該製薬企業」）と当社が、PC-SOD (LT-1001) のオキサリプラチンによる化学療法誘発性末梢神経障害（CIPN）予防薬としての開発において、欧州における独占的なライセンス契約の骨子案（タームシート）を合意・締結したこと
- ② 本年 6 月までに最終的な契約を締結する予定であること
- ③ 本年 6 月までに当該製薬企業は、当社並びに PC-SOD に関する様々な監査（デューデリジェンス）を行うこと

などの報告をいたしました。しかしながら、現時点では監査（デューデリジェンス）、及び契約交渉が進行中であり、契約締結までにはなお一定の時間を要する見込みですのでご報告いたします。遅延の理由としましては、世界初（First in Class）の CIPN 予防薬の開発であるために、欧州での開発戦略の方向性を決めるのに予想以上の時間が掛かっていることなどがあげられます。

当社にとってこのライセンス契約は企業価値の向上に繋がる大変重要な案件ですので、今後とも真摯に取り組んでいきたいと考えております。

本事業で進捗がありましたら、またご報告いたします。

「PC-SOD (LT-1001)」は、当社独自の DDS 技術を用いたバイオ医薬品であり、様々な疾患の原因となっている活性酸素を消去できる画期的な新薬です（世界的にも同様の作用機序を持つ薬はありません）。本試験の対象疾患である CIPN は抗がん剤治療に伴う副作用の一種で、抗がん剤投与後にしびれなどが生じがん治療が妨げられるため、臨床現場で大きな問題になっています。当社は、この副作用を予防する方法（薬）がないこと、及びこの副作用の原因が活性酸素であることに着目し、開発を進めております。

以上